

2024（令和6）年度 学校評価の重点目標・評価項目・評価の観点

学校教育方針	中・長期目標	次年度への課題
<p>・本校は、教育基本法並びに学校教育法に則り、新しい時代に相応しい健全な家庭人、有能な社会人として、教養豊かな女性教育を育成することを目的とし、特に仏教精神を基盤とした情操道義の教育に重点をおく。</p> <p>・建学の精神「うつくしく生きる」を基とした教育活動を行う。浄土真宗の教えに基づいた仏さまの教えを通して「大切にされているわたしに目覚めていのちを輝かせる」教育活動を実践する。</p> <p>・地域から愛され、選ばれる学校を作る。</p>	<p>・教育方針を基本とし、時代に即した教育を行う。</p> <p>・「建学の精神」の具現化に努める。</p> <p>・「和顔愛語」「先意承問」の精神の具現化に努める。（和やかな顔・表情、美しく優しい言葉、相手の立場に立って誠意をもって立居振る舞う）</p> <p>・「B・A・S・E」(勉強・挨拶・掃除・笑顔)4つの基本を大切にする。</p> <p>・「いのち」「時間」「ことば」を大切にする。</p>	
	今年度の重点目標	次年度への課題
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「建学の精神」の共有 2. 入学者の確保 3. 教育の質の向上 4. 生徒に対する支援の充実 5. 地域貢献・地域連携活動の推進 6. PTA・同窓会との協力 7. 進路支援の強化・充実 	

《達成度 A：ほぼ達成 B：概ね達成 C：変化の兆し D：不十分》

【事業目標1】建学の精神「美しく生きる」の理解を深め、常に意識する							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
宗教行事	积尊降誕会・報恩講への全校生徒と全教職員の積極的な参加を行う	校長・宗教科・学生会	1	宗教行事に積極的に主体的に参加することができたか。			
学校行事	「東本願寺研修」(1年生)を通し、本校が存在する意味を理解し、そこで学んでいく意義を探す。		2	本校で学習以外に何を学ぶのかを理解できたか。			
通年	「仏教」の授業はもちろんのこと、その他の授業や行事・課外活動においても、全て仏教の精神がその根本にあり、その考えのもと教育活動を行う。		3	全校生徒と全教職員が本校で学ぶことを理解しているか。			
宗教研修	初任研修・宗教研修・宗教担当者研修への積極的な参加。	管理職・宗教科	4	研修で得た知識、発見から、自ら本校で仕事をする意義を考え、伝えることができたか。			

【事業目標2】B(勉強)A(挨拶)S(掃除)E(笑顔)の基本を大切にする							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
BASEの履行	普段から「勉強・挨拶・掃除・笑顔」を意識し、学校生活を送る。	学生会	5	何のために勉強し、挨拶し、掃除し、笑顔であるのかを自覚でき、実践できているか。			

【事業目標3】南無阿弥陀仏の教えを学ぶ							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
この時よば	「いのち・時間・ことば」を大切にす。	学生会	6	自分の人生を大切に生きているか。			

【事業目標4】入学生数の安定を図る(教職員全員が募集活動)							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
特色の明確化	私学・仏教・女子教育を明確に打ち出す。	管理職・生徒募集	7	地域から、理解され、認められているか。			
入試方法	本校独自の入試方法を行う。	管理職・教務・生徒募集	8	入試方法の改定が中学校側に理解され、多くの受験生があったか。			
コースの見直し	進学コース特にEクラスの見直しと内容の検討を行う。総合コースという名称を新たなものにするように検討する。 進学コース特にEクラスの見直しと内容の検討を行う。	管理職・生徒募集	9	平成30年度入試より新進学コース(S・E)が開設され、入学者が増えたか。教職員で改名や内容について検討できたか。			
施設設備の充実	学習活動・課外活動がより安全に効果的に行えるように施設の充実を図る。	管理職	10	施設の新設か耐震設備が取り壊すかの議論を行えたか。 自習室の設置・拡充ができたか。 講堂の新築・改築、耐震設備等の議論を行えたか。 合宿棟の改築・耐震設備等の議論を行えたか。			

【事業目標5】個々の学力・人間力の向上を目指し、進路の実現を図る							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
学習意欲確立	新教育課程に即し、本校独自の教育を行う。ICTを活用しての「個々に応じた学び」を行う。探求活動を積極的に授業に取り込む。 時代に沿ったカリキュラムの検討を行う。	教務・進路	11	新教育課程に応じた学びが実行できたか。 教職員で内容について検討できたか。			
学力向上	「高等学校基礎学力テスト」の改定に備え、全生徒の基礎学力を向上させる。		12	「高等学校基礎学力テスト」の結果を踏まえ、更なる指導にあてたか。			
	「大学入学共通テスト」に備え、全生徒(大学進学希望者)の基礎学力及び応用力を身につける。		13	事前に模試を実施し、「大学入学共通テスト」の結果を踏まえ、学力を向上させ、志望校に入学させることができたか。			

	地域学習塾と連携し、幅広い生徒層への 学力定着・向上を目指す。 (評価指標)		14	生徒の希望する志望校 に入学させることがで きたか。 補習を受ける生徒を減 らすことができたか。			
	学習指導要領に応じて、アクティブ・ラ ーニングや資質・能力の育成、カリキュ ラム・マネジメントの研究と実践を行 う。また高大接続改革を推進すべく、そ ののための研修会などにも全教職員が取 り組む。 (評価指標)		15	新しい時代に相応しい 人材を育成できたか。			
教職員校内外の研修・教養法の研究	各教科研究授業を行い、教職員が見学 し、反省会を行う。	教務・管理職	16	自らの授業の糧にし、その 後の授業に生かされたか。	—		
	研修後、インプットしたことを、口頭も しくは文書でその他の教職員にアウト プットし、身につけた教養を共有できる ようにする。		17	発表者の教養が他の教職 員に伝わったか。			
	PTA 向けの授業公開や公開講座を設け る。	教務	18	多くの保護者に授業見学 の機会が設けられたか。 見学された保護者から意 見や感想を聞き取れたか。 本校の授業を受けた保護 者が、生徒と同じような立 場で授業を受けることに より、学校・教員理解につ なげられたか。			

【事業目標6】 基本的生活習慣の確立／自己肯定感・自己有用感の育成／自利利他の精神							
	重点項目(具体的な取り組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
基本的生活習慣確立	欠席・遅刻・早退の原因を把握して、適 切な指導を行う。	生徒指導・特別支援 学級 学生会	19	欠席・遅刻・早退が減少し たか。			
	身だしなみについて日常的に意識させ る。		20	清楚で TPO に応じた高 校生らしい服装ができて いるか。			
初期段階事前指導	ホームルーム・授業・クラブ活動など学 校生活の諸活動の場面で生徒の変化に 気づき、適切な対応を図る。		21	早い段階で生徒の悩みを 見つけ、解決できたか。			
心の安定指導	様々な不安や悩みから言動に変化が表 れる生徒に対し、教員が1対1での対話 を通じて心の安定を図る。		22	不安や悩みを持つ生徒が 安心して相談でき、その相 談が解決に向かったか。			
全教職員の連携	全教職員が学年や係などのそれぞれの 立場で連携をとり、指導にあたる。		23	不安や悩みを持つ一人の 生徒に対し、教職員が把握 し、指導にあたれたか。			
生徒クラブ活動等	生徒の自主的活動を促す指導をする。	学生会・課外活動	24	全生徒が課外活動に積極 的に参加し、教室以外に自 分の居場所を確保できて いるか。			
	様々な場面で、周囲の人の気持ちや立場 を尊重して発言し行動できるように指 導する。		25				

	将来主権者として、世の中の出来事に関心を持ち、行動できるように指導する。		26			
活動運営法	生徒会・クラブ活動など生徒の自主的な組織のルールやマナーを守り、民主的に運営されるような指導を行う。		27	その活動を通して、社会性、遵法精神を身につけたか。		
文化祭の取組方法	本校文化祭の意義や理念を知り、それを実現するために努力できるような指導を行う。		28	文化祭を通して、生徒個々が人間的に成長できたか。生徒が主体的に企画・運営に携わっているか。		
	文化祭の各企画を各自が立案、準備、運営、協力で尽力できるように指導する。		29	全体目標に対し意思統一して役割を果たせるか。		
	文化祭の係分担について各自が自分の役割を理解し、責任を持って仕事を実行するように指導する。		30	来校者の満足感と、各生徒の充実感・達成感の両立ができていないか。		
	生徒の充実感や達成感と共に高い文化レベルを追求するように指導する。		31			

【事業目標7】 地域と連携し、地域に貢献できる学校を目指す。また地域に開かれた学校作りを行う

	重点項目(具体的な取組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
地域連携推進	地域行事、ボランティアに積極的に参加する。	課外活動	32	本校の理解を深められたか。			
	広報活動の充実を図る。(HPの研究と充実・広報誌の発刊・地方紙への記事の提供など)	生徒募集・広報	33	広く地域の方に本校の活動を知らせ、理解と協力を得られたか。			

【事業目標8】 PTA・同窓会と協力して学校運営を活発化する

	重点項目(具体的な取組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
PTA連携	PTA活動のあり方を再検討する。(学校行事・講演会・公開授業・PTA研修など)	管理職・PTA係	34	PTAの積極的な参加があったか。本校の教育活動に理解と協力を得られたか。			
同窓会連携	同窓会活動に対して、同窓生の積極的な参加を促す。	同窓会担当	35	同窓生が本校の教育活動に興味を示し、同窓会活動や募集活動に協力的になったか。			

【事業目標9】 卒業生全員の進路希望の実現を目指す

	重点項目(具体的な取組み)	担当		評価の観点	評価	成果と課題	改善・向上策
自己理解	自らの個性や傾向性と真摯に向き合い、自己理解を深める。自らの長所・短所について自覚的に行動し、それに基づいて将来を構想する。	進路指導・学生会	36	個々の生徒が自らのアイデンティティを確立し、自己実現を目指し、行動しているか。			
受験対応策	校外模試や検定試験を積極的に活用する。面接や小論文に必要なコミュニケーション能力・一般的な知識・論理的な思考力を向上させる。		37	入試・就職試験に合格すべく、基礎力・応用力を身につけたか。			

進路情報提供	進路ガイダンス等を有効に機能させる。有益な進路情報を然るべき時期に、生徒・保護者に向けて伝達する。		38	将来に向けて、個々が考え出すタイミングで、有効な進路学習や情報を提供できたか。		
大学進捗意向	大学入学共通テストに備えて、カリキュラムの見直し・改善・再構築を図る。	進路指導・教務	39	進路実績の向上が図れたか。		
就職動向	就職観や労働観を健全に育む。自らの人生を真剣に考え、どのような職業に就くべきか考察する。	進路指導・学年	40	就職希望者の全員が合格を得たか。		
キャリアパスポートの継続と展開	キャリアパスポートを中学から引き継ぎ、個々の生徒の進路やキャリアに生かせるようキャリアパスポートの作成を行う。	進路指導・教務・学習	41	キャリアパスポートを中学校から引き継げたか。本校において新たに作成できたか。それを進路に役立てたか。		